小学生ティーボールオープン大会 in 阿南

（アジアオープンティーボール国際大会　in ANAN プレ大会兼徳島県代表選考大会）

競 技 規 則

日本ティーボール協会のオフィシャル・ティーボールルールに準ずるが、一部大会特別ルールを採用する。なお、ボール、バット、バッティングティー台、ベース、ビブス等は、主催者側にて準備する。

(1) 小学５年生以下の男女１０名以上で編成されたチームとする。
(2) ベンチ入りは引率責任者３名以内、登録選手１５名以内とする。なお、登録選手は全員出場できるように配慮すること。
(3) 塁間は１６ｍとする。両翼は５０ｍ以上とし、HR ラインを設定する。
(4) 使用球はティーボール１１インチゴムを使用する。グローブを使用すること。
(5) 金属製スパイクは禁止する。
(6) 同一チームのプレーヤーは、同一のユニフォーム（帽子と上着）を着用する。指導者も同様とする。背番号は打順通り１から１０の番号付きビブス(主催者が用意)を着用する。
(7) 競技者は１０名で全員打撃制（１イニングの攻撃で１番打者から１０番打者までが必ず打撃を行う）とし、１打者最大３スイングまでとする。
(8) 攻撃終了時に残塁走者がいた場合は、次回の攻撃が始まる際に、その走者をもとの塁につかせてから攻撃を継続する。
(9) メンバー表は不要とし、試合開始前にジャンケンにより先攻、後攻を決める。
(10) 打つ前に走者が離塁すればアウト、スライディングや危険行為も原則アウトとする。
(11) バント・軽打は禁止（ストライクと判断)、ファウルも３スイングでアウトとする。
(12) 内野手又は捕手がボールを保持し、プレイが一段落したと審判が判断したならば、常に「タイム」を宣告し、ボールデッド（試合停止球）とする。試合の再開は、ボールをティー台に戻し、球審の「プレイ」の宣告による。
(13) 予選ブロック及び交流戦は、１試合２イニング制とし、対戦カード及び試合順序は組み合わせ表に準ずる。決勝トーナメントは、１試合３イニング制とする。（枠番の早いチームが一塁側ベンチとする。）
(14) 最終回は、イニング途中でも勝敗が決した時点（逆転が不可能な点差）で試合終了とする。
(15) 球審の「プレイ」のコール後に、ティー台の調整や軸足の移動行為はストライクとする。
(16) 打者は、軸足を２歩以上動かして打撃してはいけない。違反の場合はストライクとする。第２ストライクの後、同様の動作の場合はアウトとする。
(17) バッティングサークルからバットが直接出た場合やバットを放り投げた場合はアウトを宣告する。
(18) タイムは１試合につき、攻撃、守備時において各１回とする。
(19) 選手交代は、ビブスの交換をもって行う。守備位置の変更は原則として次打者が打席に入りプレイが開始されるまでに速やかに行う。
(20) 最終バッターの暴走は安全上禁止する。ボールが内野に戻った時点で審判は「タイム」をコールしプレイを終了させる。
(21) 試合中の選手への指導・指示は自軍ベンチから行う。それ以外の場所でのコーチングは禁止とする。
(22) 試合進行のスピードアップのために、バットボーイは保護者が行ってもよい。 またランナーコーチャーはつけない。
(23) ベンチ内では打順通りに整列し、打撃が終わり次第守備の準備を行う。